



NISSAN

ドライブレコーダー 取扱説明書

090002-34620700
1308DE(K)

PART No.
G20A0-C9954

ご使用前は必ずお読み下さい。

目次

安全に正しくお使いいただく ために	3
----------------------------	---

使用上のご注意	7
---------------	---

各部の名称とはたらき	9
------------------	---

LED 表示、ブザーによる 異常通知	10
-----------------------------	----

本体の操作方法

起動する	11
終了する	12
映像と音声を記録する（記録モード）	13
記録した映像を見る（再生モード）	15
日時の設定を変更する（メンテナンス モード）	20

ビューアーソフトの操作方法

ビューアーソフトをコピーする	22
記録した映像を見る	25
記録した映像をパソコンに保存する	30
本体の設定を変更する	32
本体の日時を修正する	35
SD メモリーカードをフォーマットする	37
ヘルプを表示する	39
バージョン情報を表示する	40
ビューアーソフトを 消してしまった場合	41

よくある質問	42
--------------	----

本体	42
ビューアーソフト	44

仕様	46
----------	----

■ 安全に正しくお使いいただくために

この取扱書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機は **DC12V/24V** のアース車専用です。**12V/24V** 車以外では使用しない。
- 本機を分解したり、改造しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しない。
事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 本機にかかる加速度を確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にやめる。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に **SD メモリーカード** の抜き差しやスイッチ操作をしない。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 機器内部に水や異物を入れない。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れない。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しない。
- カード挿入口に異物を入れない。
火災や感電の原因となります。

注意

- 本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- カード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機およびコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。)
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
両面テープが剥がれ本体が脱落するおそれがあります。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。

フロントガラスへの取り付けに関し、平成 11 年 12 月 27 日告示の道路運送車両の保安基準第 29 条 4 項 7 号（国土交通大臣または地方運輸局長が指定したもの）に対する運輸省告示第八百二十号への適合性に対し、保安基準に適合する商品として、当該箇所への装着に対し、車両検査の対象品として基準を満たす商品であることを確認しています。

本製品は日産純正部品取付要領書の通りに、正しく取り付けされた場合に限り、保安基準に適合いたします。取付要領書の指示以外の取り付け方や、そのほかの改造などを行ったときにその適合性を保証するものではありません。

本機について〔必ずお読みください〕

- 本機は、常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合などは、映像が記録されない、または、映像が残っていないことがあります。
 - ① 本機に SD メモリーカードを挿入していない場合
 - ② 本機から SD メモリーカードを抜いた場合
 - ③ 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
 - ④ 大きな事故や水没などで本機および SD メモリーカードが損傷を受けた場合
 - ⑤ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと、日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合は、P.20 または P.35 の手順に従い日時を修正してください。
- 映像が記録されなかった場合や記録された映像ファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。衝撃を検知して記録する装置ではありません。SD メモリーカードの記録が一杯になると、古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SD メモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。

- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。
- 本機が起動中（LED が点滅中、点灯中）に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。SD メモリーカードの破損による映像が記録できない件について、弊社は一切責任を負いません。
- 本機で記録した映像を見るために、下記のスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件	
OS	Windows XP 日本語版（SP3 以降）32 ビット版のみ *1 Windows Vista 日本語版（SP2 以降）32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 7 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 8 *2 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1
CPU	Pentium III 800MHz 以上 *3
メモリ	128MB 以上 *3
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 4.0 以降 USB 2.0、USB 3.0 または PCMCIA スロット経由で SD メモリーカードにアクセスできること

* 1 上記 OS 以外のバージョンの OS 上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。

* 2 タブレット PC を始めとするタッチパネルでの動作は保証対象外です。

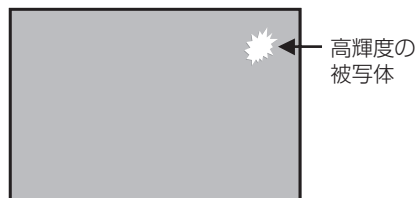
* 3 Windows XP の場合です。Windows Vista および Windows 7、Windows 8 については、Microsoft 社の推奨システム要件が必要です。

- ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その際は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ 使用上のご注意

- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には、必ず添付の SD メモリーカードを使用してください。添付品以外では正しく動作しません。SD メモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。SD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- SD メモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意してまっすぐに挿入してください。
- SD メモリーカードの抜き差しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、SD メモリーカードが破損するおそれがあります。
- SD メモリーカードへのデータ書き込み中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- SD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので、SD メモリーカードを取り出してください。
- SD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機への直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- カメラの角度調整ツマミはさわらないでください。必要な映像範囲が撮影できなくなります。

- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- フロントトップシェード付きの車は、映像の色が濃く記録されます。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。

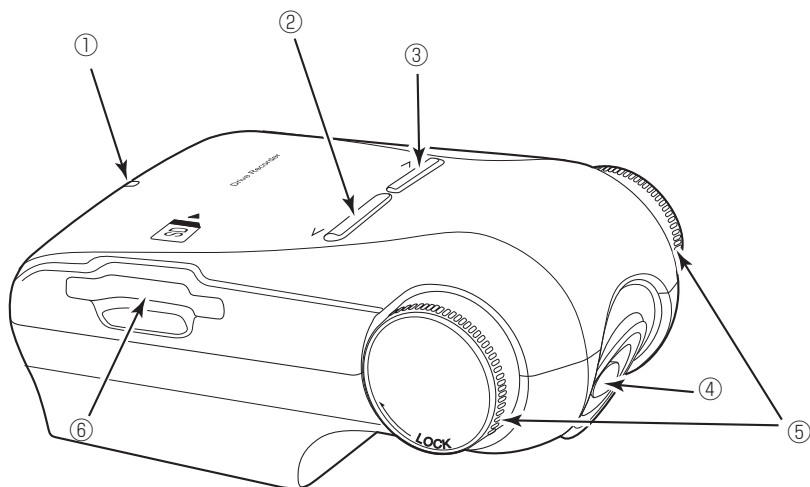


（※）ブルーミング現象：
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時を定期的に確認してください。日時がずれている場合は、P.20 または P.35 の手順で日時を修正してください。

■ 各部の名称とはたらき

本機



① LED

点灯しているときは、記録状態です。
点滅しているときは、映像再生（再生モード時）、日時設定（メンテナンスモード時）、または初期化状態です。
ブザーとともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、ブザーによる異常通知」(P.10)を参照してください。

② 左ボタン（「<」ボタン）

モード切替操作、ブックマーク登録、再生操作、再生画面／設定画面での選択・決定・終了操作に使用します。

③ 右ボタン（「>」ボタン）

モード切替操作、ブックマーク登録、再生操作、再生画面／設定画面での選択・決定・終了操作に使用します。

④ カメラ

映像撮影部です。

⑤ カメラ角度調整ツマミ

出荷時に適切な角度に調整されていますので触らないでください。

⑥ カード挿入口

使用する SD メモリーカードをここへ挿入してください。

■ LED 表示、ブザーによる異常通知

LED 表示、ブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。

また、スイッチ操作を行ったとき、本機が起動したとき、動作モードが切り替わったときなどにも、LED が点灯したり、ブザーが鳴ったりします。正常動作時の LED 表示、ブザーについては各操作説明を参照してください。

ブザー	LED 状態	原因	対処
ピーッピーッ ピーッ・・・ (鳴り続ける) ※「<」ボタンまたは 「>」ボタンを押すと ブザーが止まります。	遅い点滅 ※点灯 (0.5 秒) / 消灯 (1.5 秒) の繰り返し	SD メモリーカードが挿入されていない。	SD メモリーカードを挿入してください。 それでも解決しない場合は、正常に挿入されていない可能性があります。SD メモリーカードを入れ直してください。
		SD メモリーカードのフォーマット異常の可能性がある。	SD メモリーカードをフォーマットしてください。(→ P.37)
		SD メモリーカードが書き込み禁止になっている。	SD メモリーカードの「LOCK」を解除し、SD メモリーカードを再挿入してください。
プー	遅い点滅 ※点灯 (1.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し	記録される日時が異常になっている。	本機の日時を修正してください。(→ P.20、P.35)
		映像または音声の保存ができなかった。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。
ピープーピープ・・・ (鳴り続ける) ※「<」ボタンまたは 「>」ボタンを押すと ブザーが止まります。	速い点滅 ※点滅 (0.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し	映像および音声の保存ができなかった。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。
ピー (高音)	速い点滅 ※点滅 (0.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し	アプリケーションの異常を検知した。	電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店へお問い合わせください。



ワンポイント

- 起動音や操作音については、ビューアースoftで ON / OFF の設定ができます (→ P.32 参照)。
- 異常時のブザーは、常に鳴る (ON) ように設定されています。鳴らない (OFF) ように設定を変更することはできません。

■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像と音声を SD メモリーカードに記録し、パソコンや日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の画面で見ることができます。

ここでは、本機の使い方、設定の変更方法を説明します。

1 起動する

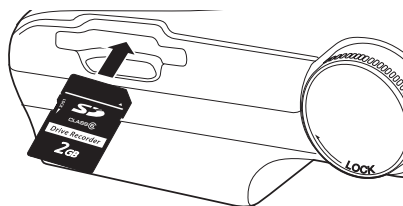
本機の電源は車両のエンジンキー（ACC）と連動しています。エンジンキーをオンする前に、本手順にしたがって SD メモリーカードの有無を確認してください。

1. 本機の電源が切れている状態で、SD メモリーカードが挿入されていることを確認します。

⚠ 注意

SD メモリーカードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って SD メモリーカードを挿入してください。

- ・ 本機の電源が切れていること（本機の LED が消灯している状態）を確認してください。本機が動作中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、SD メモリーカードが破損する場合があります。
- ・ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」解除の状態であることを確認してください。
- ・ SD メモリーカードを本機に挿入する場合は、向きに注意してまっすぐに挿入してください。
- ・ SD メモリーカードは、カチッと音がするまで挿入してください。



SD メモリーカード

2. 車両のエンジンキーをオンにします。

電源が入り、本機の LED が点滅します。

📌 ワンポイント

- 「ピッ」とブザーが鳴り、LED が点灯すると起動完了です（約 5 秒かかります）。
※設定によりブザーが鳴らないことがあります。
- 起動完了するまで映像の記録はできません。

2 終了する

1. 車両のエンジンキーをオフにします。

記録中のときは、記録動作が終了し、LED が消灯すると、電源が切れた状態になります。

2. 記録した映像をパソコンで見たい場合は、SD メモリーカードを取り出します。

SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出します。

注意

- SD メモリーカードへのデータ書き込み中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- SD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので、SD メモリーカードを取り出してください。
- SD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SD メモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SD メモリーカードが無い場合は、ブザーが「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。

3 映像と音声を記録する（記録モード）

本機は常時記録型のドライブレコーダーです。（衝撃を検知し、記録する装置ではありません。）本機の起動が完了すると、映像と音声の記録が開始されます。記録中は LED が点灯します。

SD メモリーカードの記録容量上限に達したときは、古い映像と音声を消して、新しい映像と音声を記録（上書き）します。エンジンキーをオフにすると、記録が終了します。

記録モードについて

記録モードには、標準モードと長時間モードの 2 種類があり、以下のサイズで記録しています。（お買い上げ時の設定は標準モードになっています。）

標準モード： VGA サイズ（640 × 480 ピクセル）

最大 14 フレーム / 秒

※ 環境によってフレーム数が少なくなったり、QVGA サイズで記録することがあります。

約 1.5 時間分の記録ができます。

長時間モード： QVGA サイズ（320 × 240 ピクセル）

最大 3.5 フレーム / 秒

※ 環境によってフレーム数が少なくなることがあります。

約 6 時間分の記録ができます。

※ 長時間モードでご使用の場合は、標準モードの映像より画質が劣りますので、実際の映像をご確認いただいた上でご使用ください。

※ 標準モード / 長時間モードは、ビューアースフトで切り替えます。

詳しくは P32 をご参照ください。

※ 記録時間は、おおよその目安時間になります。

ご使用の条件や撮影映像によって変化いたします。

 注意

- SD メモリーカードへの記録中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 電源のオン／オフやモード切り替え（下段の「ワンポイント」参照）を頻繁に繰り返すと、短時間の記録ファイルが多くなり、全体の記録可能時間が短くなります。
- 記録容量上限（標準モード：約 1.5 時間、長時間モード：約 6 時間）になると、古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SD メモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。



- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.30) 参照

 ワンポイント

記録モードから日時を設定する画面（メンテナンスモード）、または記録した映像を再生する画面（再生モード）に切り替えると、記録が一時停止します。また、記録モードに切り替わると記録が再開されます。

ブックマークの登録

記録中の映像にブックマークを登録することができます。

走行中に遭遇した出来事などにブックマークをつけることで、ビューアソフトで記録した映像を再生するときに探しやすくすることができます。

ブックマークは以下の操作で登録できます。

1. 記録モード動作中に、ブックマークを登録したいところで、左ボタン（「<」ボタン）、または右ボタン（「>」ボタン）を押します。

「ピッ」とブザーが鳴り、ブックマークが登録されます。

 注意

- 安全のため運転中に操作しないでください。運転中の操作は事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作してください。
- ブックマーク登録後は 1 秒間ブックマーク登録できません。

4 記録した映像を見る（再生モード）

日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の場合のみ、記録した映像をナビゲーション画面で見られます。

⚠ 注意

- 再生モードでは音声は再生されないため、記録した音声はパソコンで確認してください。
- 再生モード（LED 点滅中）では、映像の記録はできませんので車両を停車させた状態で切り替えてください。

1. ナビゲーションの画面を **VTR 画面** にします。
2. 記録モード動作中に、**ドライブレコーダー本体の右ボタン（「>」ボタン）を 3 秒押します。**

3 秒経過した時点で「ピッ」とブザーが鳴り、続いて「ピピッ」とブザーが鳴ると、再生モードに切り替わります。LED が点滅して、注意文表示後に選択画面が表示されます。
※ 設定によりブザーが鳴らないことがあります。

⚠ 注意

- 「ピッ」とブザーが鳴ったら「>」ボタンを離してください。
- 本機に異常がある場合は「ブッ」とブザーが鳴り、再生モードには切り替わりません。
⇒「LED 表示、ブザーによる異常通知」（P.10）参照
- 走行中は再生モードには切り替わりません。車両が停止している状態で再生モードに切り替えてください。

3. 起動日時一覧からドライブレコーダー本体の「>」ボタンや「<」ボタンを押して再生したい映像を選び、「>」ボタンを 1 秒押します。

〈選択画面〉



ページ数

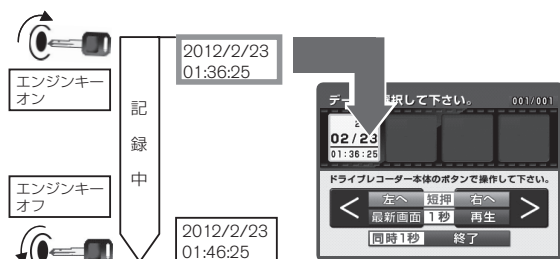
起動日時一覧
車両のエンジンキーをオンにした（記録を開始した）日時が、新しい順に、左から並びます。

📌 ワンポイント

- 次ページに切り替えるときは、表示されている最も古い日時の映像を選び、「>」ボタンを押します。また、前ページへ切り替えるときは、表示されている最近の日時の映像を選び、「<」ボタンを押します。
- 任意の日時の映像を選び、「<」ボタンを 1 秒押すと選択した映像の最終（最後）の映像が表示されます。
- 車両のエンジンキーをオンにして記録を開始した日時が、新しい順に左から並びます。
- 起動日時とは、記録モードで映像を記録開始した日時（車両のエンジンキーをオンにした日時、再生モード・メンテナンスモードから記録モードに切り替えた日時）です。

●起動日時一覧の時間表示には、次の4つのパターンがあります。

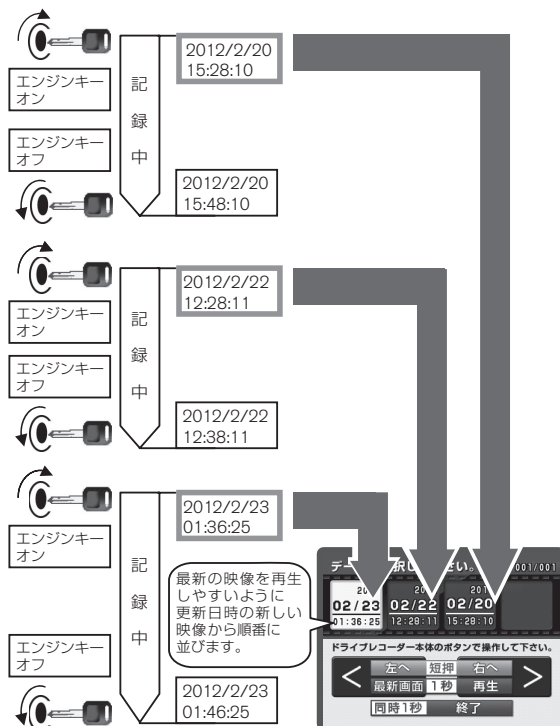
①10分の運転を1回した場合



車両のエンジンキーをオンにした時間のリストを表示します。

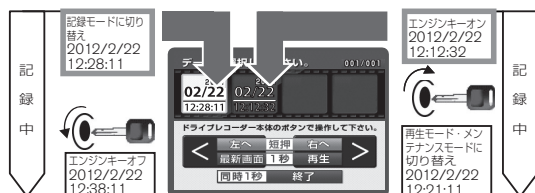
②短い時間で3回運転した場合

(トータル記録時間が1.5時間(記録時間上限)超えない場合)



エンジンキーをオンにした時間をリスト表示します。
1回の運転で1つのリストが作成されます。

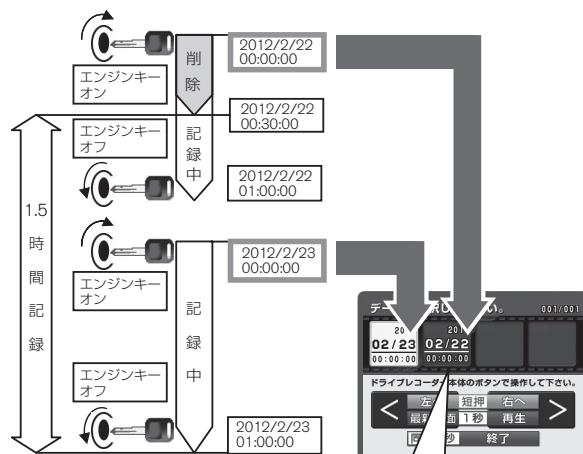
③他モードに切り替えた場合



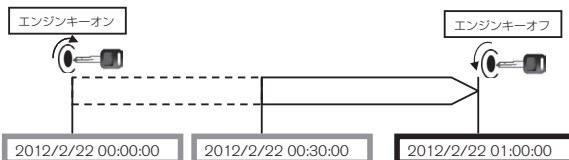
※再生モード、メンテナンスモード中は、映像記録できません。

再生モードやメンテナンスモードに切り替えると記録が中断され、次に記録モードに切り替えた時点で新しい起動日時が追加されます。

④トータル記録時間が1.5時間（記録時間上限）を越えた場合



最も古いリストを選択し、再生した場合



「2012/2/22 00:00:00」のリストを再生すると、2012/2/22 00:30:00 から再生されます。

※2012/2/22 00:00:00～00:29:59までのデータは削除されているため確認することができません。

車両のエンジンキーをオンした時間がリスト表示されます。
記録時間の上限を超えている場合、最も古い時間の映像から削除されるため
最も古いリストを再生すると表示された時間の途中から再生されます。

映像再生の場合

画面の下に、「記録日時、動作状態（再生中、停止中、一時停止）」が表示されます。



- 映像再生中に「>」ボタンを押すと、再生を停止します。（一時停止）
一時停止中に「>」ボタンを押すと、再生を再開します。
- 再生完了（停止）した状態で「>」ボタンを押すと、最初から再生します。
- 一時停止中に「>」ボタンまたは「<」ボタンを 1 秒押すと、シークバーが表示されます。



「>」ボタンまたは「<」ボタンを押し続けるとシークバーが右方向、または左方向へ伸び縮みし、ボタンから手を離れた時点まで映像が早送りまたは早戻しされます。

①：早送り時は、一時停止した時点の日時

早戻し時は、最初に記録した映像の記録日時

②：早送り時は、最後に記録した映像の記録日時

早戻し時は、一時停止した時点の日時

- 再生中に「>」ボタンを 1 秒押すと、30 秒後から映像を再生します。
※ 残りの映像が 30 秒に満たない場合は最終画面を表示し、再生を停止します。
- 再生中に「<」ボタンを 1 秒押すと、30 秒前から映像を再生します。
※ 映像の先頭から 30 秒経過していない場合は、映像の最初から再生されます。
- 再生中・一時停止中・停止中すべての状態で、「<」ボタンを押すと選択画面にもどることができます。

■記録モードへの戻し方

1. 再生モード中に、ドライブレコーダー本体の左ボタン（「<」ボタン）と右ボタン（「>」ボタン）を同時に 1 秒押します。

「ピッ」とブザーが鳴り、記録モードに切り替わります。

※ 設定によりブザーが鳴らないことがあります。

※ 再生モード中は映像の記録ができませんので、必ず記録モードに切り替えてから走行してください。

注意

以下の状態で自動的に記録モードに切り替わりますが、万一の事故の際に記録モードに切り替わっていなかった場合、映像は記録できませんので、走行の際は上記の手順で切り替えてください。

● 操作しないまま 30 秒が経過したとき。

※ 再生中の場合は切り替わりません。

● 電源をオフにしたとき。（次回起動時に記録モードに切り替わります。）

● 走行と判断したとき。（本体に加速度がかかったとき）

※ クリープ走行のような加速の小さい場合や凸凹な道を走行した場合は、切り替わらない可能性があります。

5 日時の設定を変更する（メンテナンスモード）

日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の場合のみ、設定画面をナビゲーション画面で見られます。

⚠ 注意

- メンテナンスモード（LED 点滅中）では、映像の記録はできませんので車両を停車させた状態で切り替えてください。

1. ナビゲーションの画面を **VTR 画面** にします。
2. 記録モード動作中にドライブレコーダー本体の左ボタン（「<」ボタン）を **3 秒** 押します。

3 秒経過した時点で「ピッ」とブザーが鳴り、続けて「ピピッ」とブザーが鳴ると、メンテナンスモード画面に切り替わります。

※ 設定によりブザーが鳴らないことがあります。

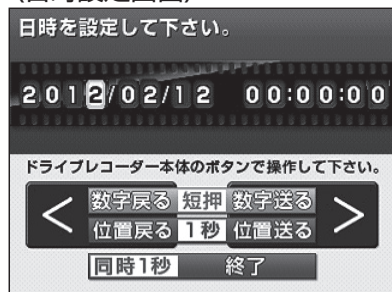
⚠ 注意

- 「ピッ」とブザーが鳴ったら「<」ボタンを離してください。
- 本機に異常がある場合は、「ブッ」とブザーが鳴り、メンテナンスモードには切り替わりません。⇒「LED 表示、ブザーによる異常通知」（P.10）参照

■ メンテナンスモードの操作方法と表示

- 「>」ボタンを押すと数値が上がります。
また、「<」ボタンを押すと数値下がります。
- 「>」ボタンを 1 秒押すとカーソルが次の桁へ移動します。
また、「<」ボタンを 1 秒押すとカーソルが前の桁へ移動します。
- 秒の 1 桁目で「>」ボタンを 1 秒押すと日時が保存され、記録モードに切り替わります。（操作の途中で終了した場合は、変更した日時は保存されません）。

〈日時設定画面〉



注意

- 年の桁位置で「<」ボタンを1秒押しても、秒の桁位置にカーソルは移動しません。
- 秒の1桁目で「>」ボタンを1秒押すことで日時設定が完了します。
上記操作の途中で終了した場合、変更した日時は保存されません。

■記録モードへの戻し方

1. 秒の1桁目でドライブレコーダー本体の右ボタン（「>」ボタン）を1秒押します。

日時が保存され、記録モードに切り替わります。

2. 設定を保存せずに記録モードに切り替える場合は、メンテナンスモード中にドライブレコーダー本体の左ボタン（「<」ボタン）と右ボタン（「>」ボタン）を同時に1秒押します。

「ピッ」とブザーが鳴り、記録モードに切り替わります。

※ 設定によりブザーが鳴らないことがあります。

※ メンテナンスモード中は映像の記録ができませんので、必ず記録モードに切り替えてから走行してください。

注意

以下の状態で自動的に記録モードに切り替わりますが、万一の事故の際に記録モードに切り替わっていなかった場合、映像は記録できませんので、走行の際は上記の手順で切り替えてください。

- 操作しないまま30秒が経過したとき。
- 電源をオフにしたとき。（次回起動時に記録モードに切り替わります。）
- 走行と判断したとき。（本体に加速度がかかったとき）

※ クリープ走行のような加速の小さい場合や凸凹な道を走行した場合は、切り替わらない可能性があります。

■ ビューアソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアソフトを使います。ここでは、ビューアソフトの使い方を説明します。

⚠ 注意

パソコンの画面は Windows 7 Professional Edition のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

1 ビューアソフトをコピーする

ビューアソフトは付属の SD メモリーカードにあらかじめ保存されています。ビューアソフトをパソコンで使用するために、デスクトップへコピーします。

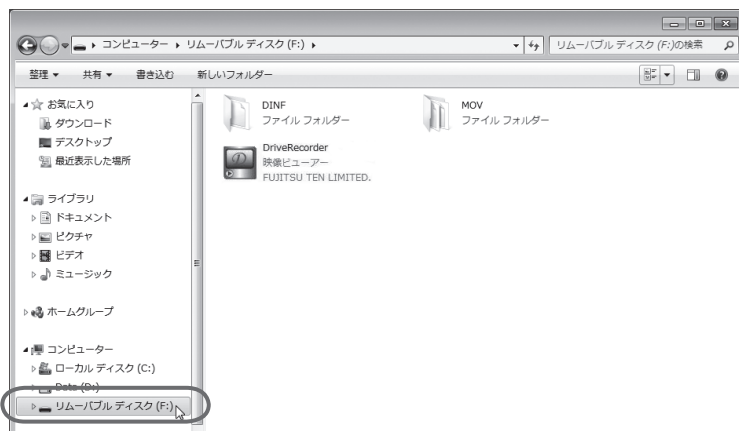
1. SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

⚠ 注意

- SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、SD メモリーカードスロットにそのまま挿入することができます。SD メモリーカードスロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
- お使いのパソコンによっては、SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

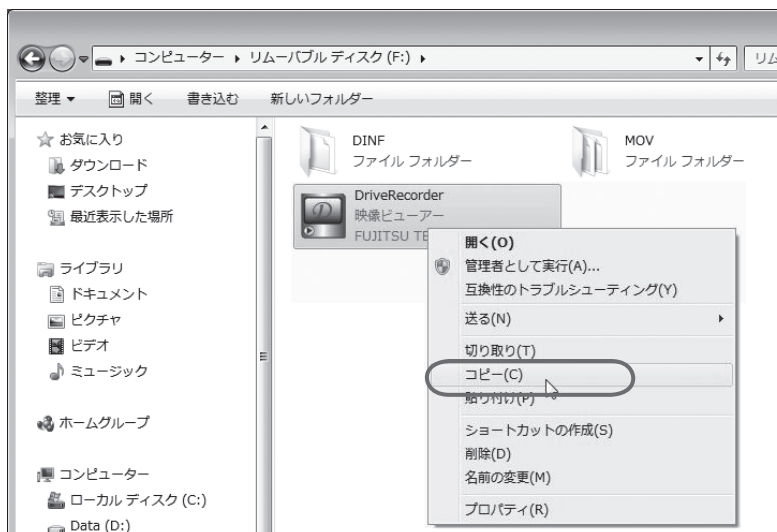
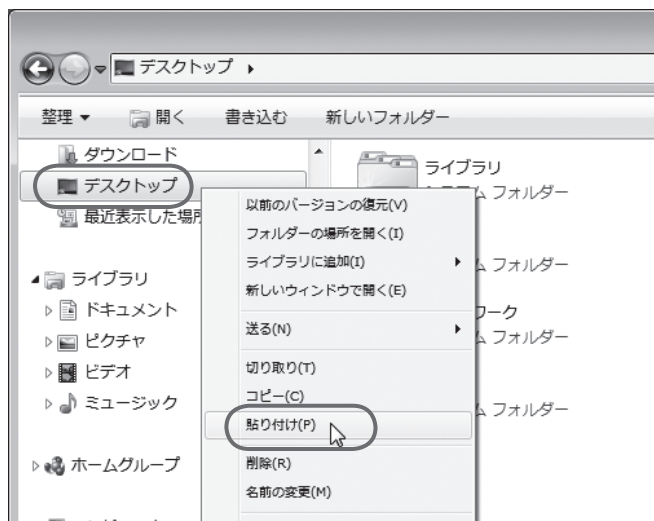
2. キーボードのウィンドウズキー (⊞) と E キーを同時に押します。 エクスプローラーが起動します。

3. SD メモリーカードのドライブを選択します。

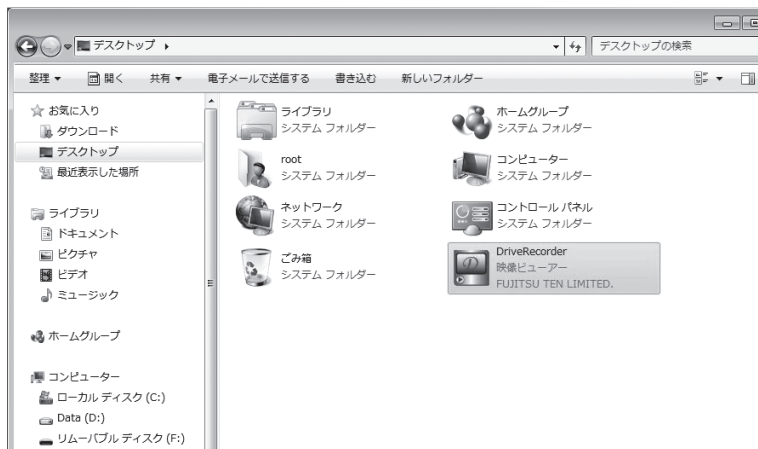


**注意**

ビューアソフト以外のファイルも表示されますが、本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

4. 「DriveRecorder」をマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。**5. 「デスクトップ」を選択し、マウスで右クリックして「貼り付け」を選択します。**

6. 「DriveRecorder」がデスクトップにコピーされます。



ワンポイント

ビューアソフトはバックアップとして任意の場所にコピーすることをお勧めします。
もし誤ってビューアソフトを消してしまった場合は、専用サイトよりダウンロード可能です。

⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.41) 参照

2 記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアソフトで見ることができます。

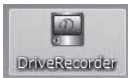
以下の手順でビューアソフトを起動し、映像を再生します。

1. 本体から抜いた **SD メモリーカード**を、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

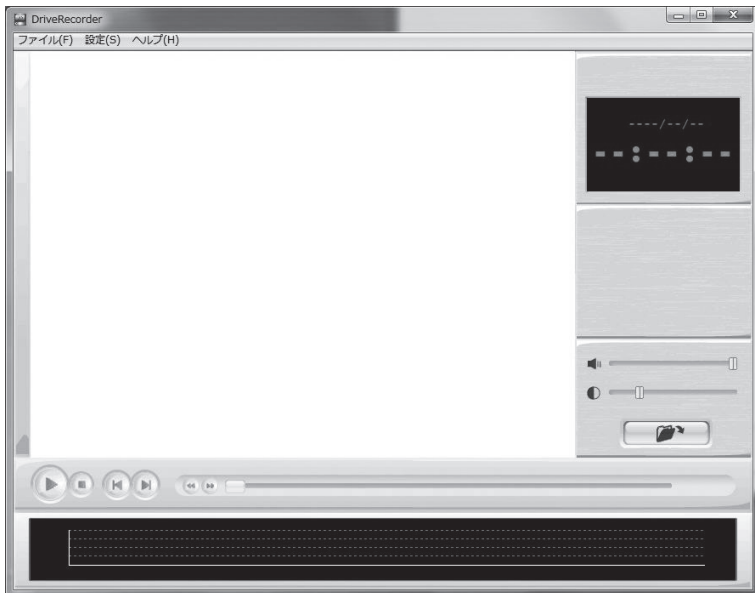
⚠ 注意

お使いのパソコンの設定によっては、SD メモリーカードを挿入したときに「Windows が実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の「」ボタンでダイアログを閉じてください。

2. デスクトップの「**DriveRecorder**」をダブルクリックします。

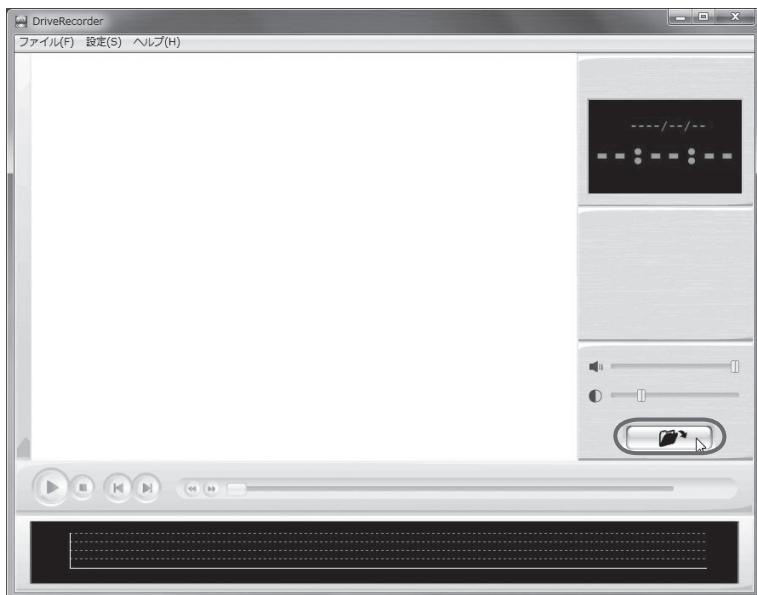


3. ビューアソフトが起動します。

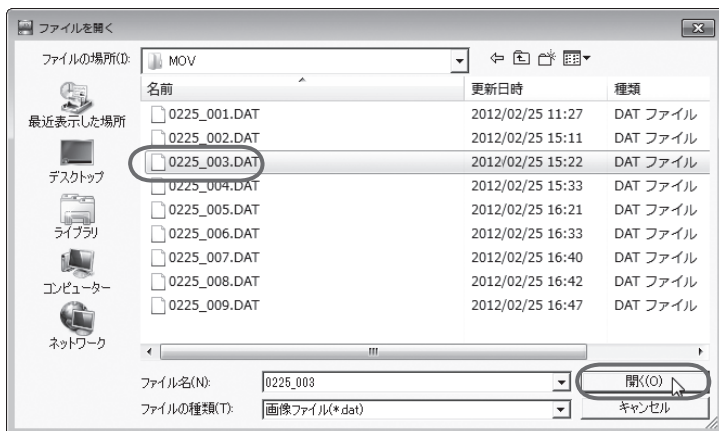


4. 見たい映像のファイルを指定します。  ボタンをクリックします (またはメニューの「ファイル」－「開く」を選択します)。

フォルダ構成については、P.29 を参照してください。



5. SD メモリーカードのドライブを指定し、MOV フォルダから見たい映像のファイルを選択し [開く] ボタンをクリックします。



指定した映像がビューアソフトに読み込まれ、自動再生が始まります。



- ① ビューアソフトを終了します。
- ② 指定した映像の記録日時を表示します。
- ③ 音量を調整します。
設定範囲 :0 ~ 16
数値を大きくすると、音量が大きくなります。
- ④ 映像の明るさを調整します。
設定範囲 :0.1 ~ 5.0
数値を大きくすると、映像が明るくなります。
- ⑤ 再生する映像を指定します。
- ⑥ 現在の再生位置を表示します。
- ⑦ 映像を再生します。
再生中は一時停止ボタン (⏸) となります。
- ⑧ 再生を停止します。
- ⑨ 一つ前の日付の映像を再生します。
- ⑩ 一つ後の日付の映像を再生します。
- ⑪ 一つ前の映像を再生します。
- ⑫ 一つ後の映像を再生します。



ワンポイント

- 急ブレーキや急カーブなどの場合、加速度グラフは上方向に変化しやすくなります。
- 段差などの場合、加速度グラフは上下方向に変化しやすくなります。

6. 終了する場合は、「**×**」ボタンをクリックします（またはメニューの「ファイル」－「終了」を選択します）。



ワンポイント

SD メモリーカードに保持しておける映像の数は限られています。必要に応じて、SD メモリーカードの映像ファイルをパソコンのハードディスクに保存してください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.30) 参照



注意

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像ファイルが破損している可能性があります。必要に応じて SD メモリーカードの映像ファイルをパソコンのハードディスクに保存し、SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。

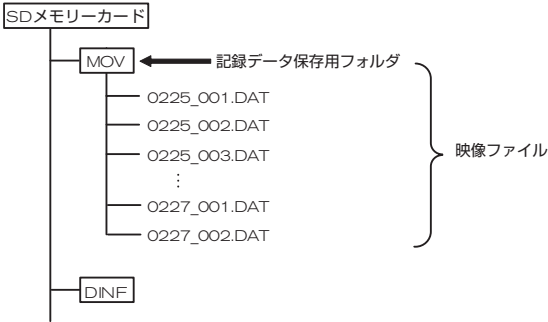
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.30) 参照

⇒「SD メモリーカードをフォーマットする」(P.37) 参照

●SD メモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

■ フォルダ構成

- SD メモリーカード内には、以下のように記録データが保存されています。



- 映像は以下のファイル名で保存されます。

MM DD xxx.DAT
月 日 通し
番号

- ハードディスク上にある映像を再生する場合は、ハードディスク上の映像のファイルを選択してください。

⚠ 注意

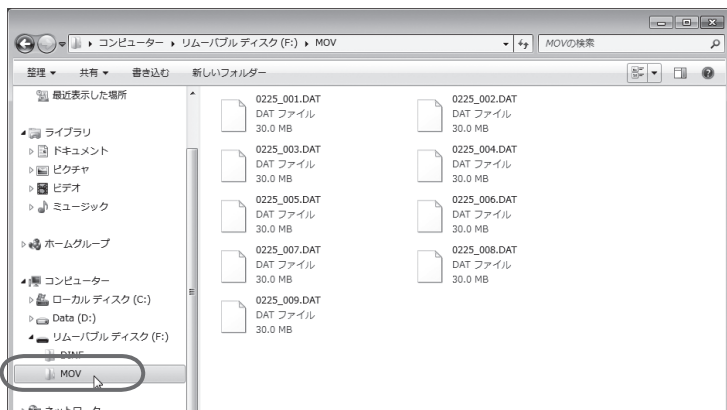
ご購入時は MOV フォルダの中に DUMY_XXX.DAT のファイルがありますが、映像を記録するために必要ですので消さないでください。映像を記録することで映像ファイルとして保存されていきます。

誤って DUMY_XXX.DAT ファイルや映像ファイルを消してしまった場合は本体起動時に再度 DUMY_XXX.DAT ファイルを作成しますので、起動時間が長くなります。

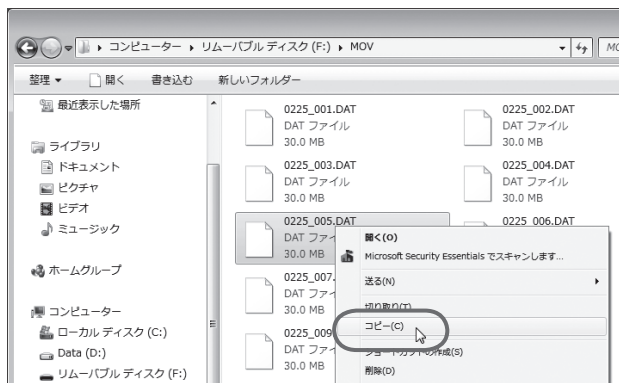
3 記録した映像をパソコンに保存する

SD メモリーカードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。SD メモリーカードの容量がいっぱいになると、最も古い映像から順に消して新たに記録していくため、消された古い映像は見るができなくなります。そのため、必要であれば、SD メモリーカードの映像ファイルはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

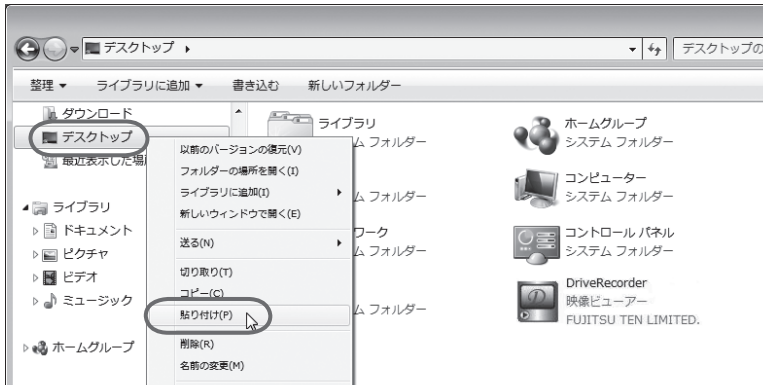
1. 本体から抜いた **SD メモリーカード**を、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. エクスプローラで、**SD メモリーカードのドライブ**を指定し、**MOV** フォルダから保存したいファイルを選択します。



3. 保存したい映像ファイルをマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



4. 保存先のフォルダを指定（ここではデスクトップにしています）し、マウスで右クリックして「貼り付け」を選択します。



保存したい映像のファイルが、SD メモリーカードから指定した保存先に保存（コピー）されます。



⚠ 注意

- コピー中にエラーメッセージが表示された場合、映像ファイルが破損している可能性があります。再度やり直してもエラーメッセージが表示される場合は SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。
⇒「SD メモリーカードをフォーマットする」(P.37) 参照
- ひとつのフォルダに保存する映像ファイルは 1000 ファイル以下にしてください。ファイル数が多いと再生まで時間がかかります。

4 本体の設定を変更する

ビューアソフトから本体の設定値を SD メモリーカードに保存しておくことで、エンジンキーのオン時に、自動的に本体の設定を変更することができます。変更が可能な設定項目は以下の通りです。

(1) ブザー設定

本体のブザーの ON / OFF を設定します。

(2) 記録モードの設定

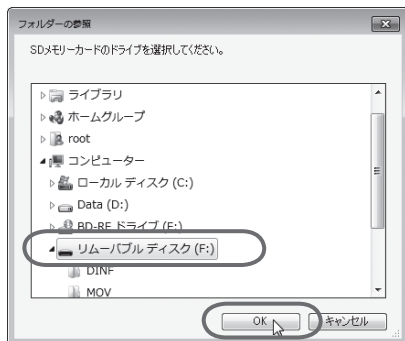
本体の記録モードを標準モードと長時間モードから選択します。

1. 本体から抜いた **SD メモリーカード**を、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

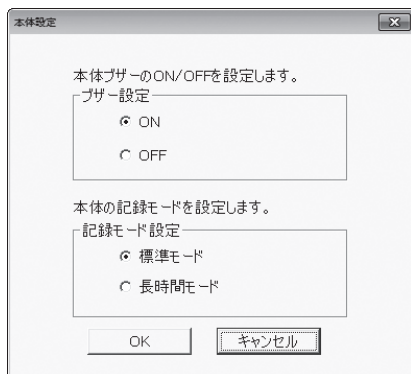
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「本体設定」を選択します。



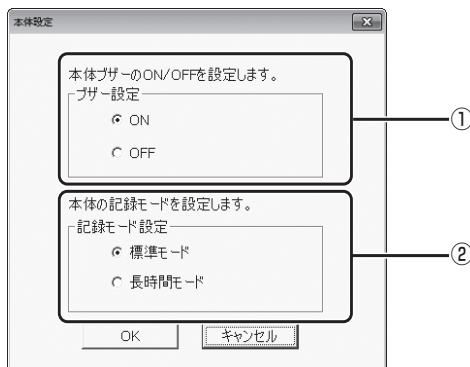
3. SD メモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



本体設定画面が表示され、以前に動作していた設定が表示されます。初回起動時は警告が表示されますが、そのまま [OK] ボタンを押してください。



4. 本体の設定を変更します。



① ブザー設定

本体のブザーの ON / OFF を設定します。

※本体の状態によっては、設定を OFF にしてもブザーが鳴ることがあります。

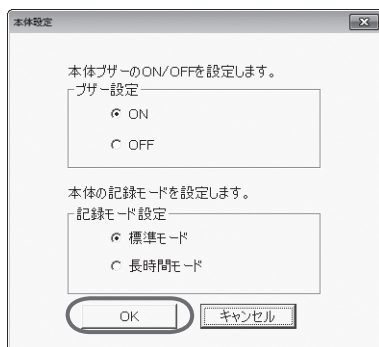
⇒「LED 表示、ブザーによる異常通知」(P.10) 参照

② 記録モード設定

本体の記録モードを標準モードと長時間モードから選択します。

※長時間モードでご使用の場合は、標準モードの映像より画質が劣りますので、実際の映像をご確認いただいた上でご使用ください。

5. [OK] ボタンをクリックします。



SD メモリーカードに設定を保存します。設定を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に設定が反映されます。



ワンポイント

設定変更後、SD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で再度設定画面を開くと調整前の設定が表示されますが（設定は本体挿入後に変更されます）、SD メモリーカードには調整した設定を記録しています。

5 本体の日時を修正する

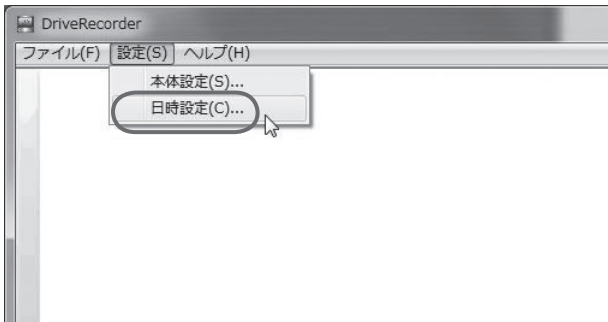
本体では内部に時計を持っており日時を保持していますが、長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合、以下の手順で日時を修正してください。



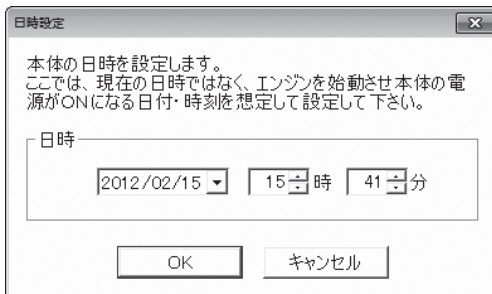
ワンポイント

ご購入直後は日時がずれている可能性がありますので、一度映像を試し撮りして、映像の日時を確認してください。また、定期的に確認してください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「日時設定」を選択します。



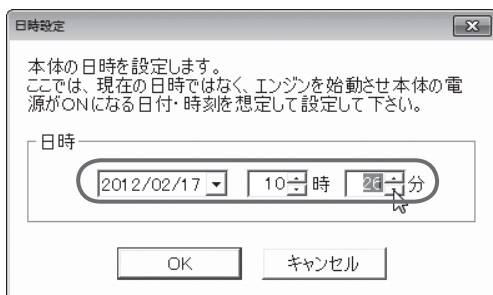
日時設定画面が表示されます。



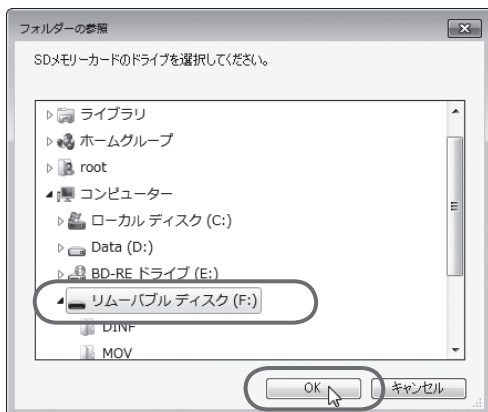
ワンポイント

設定画面に最初に表示されるのはパソコンに内蔵されている時計の日時です。ドライブレコーダー本体の日時ではありません。

3. 日時を設定します。現在の日時ではなく、次回にエンジンキーをオンにする日付と時刻を設定してください。



4. [OK] ボタンをクリックします。書き込み先選択ダイアログが表示されるので、書き込み先としてSDメモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



SDメモリーカードに設定を保存します。設定値を保存したSDメモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に日時が反映されます。

6 SD メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、映像ファイルをコピーしたりする際にエラーが表示される場合は、SD メモリーカードのデータが破損している可能性があります。以下の手順で SD メモリーカードをフォーマットしてください。

注意

- フォーマット後は、本機に必要な情報を SD メモリーカードに記録するため、起動に時間がかかる場合があります（約 1 分程度）。
起動完了（LED が点灯）するまで絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。
- 基本的に SD メモリーカードのフォーマットは必要ありません。SD メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットをしてください。
- フォーマットすると、SD メモリーカード内のビューアソフトおよび映像ファイルは削除されます。
 - ・ビューアソフトをパソコンに保存していない場合は、ビューアソフトをパソコンに保存してください。また、必要な映像ファイルはパソコンに保存してください。
 - ⇒「ビューアソフトをコピーする」(P.22) 参照
 - ⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.30) 参照

1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンにインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照してください。

- (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。URL は下記の通りです。

<http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/12nissan/>

- (2) 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
- (3) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
- (4) 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] → [SD Formatter] → [SD Formatter JP] を選択します。

3. [フォーマット] ボタンをクリックします。



 注意

Drive: 欄が、SD メモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。

異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、SD メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。

4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

5. [終了] ボタンをクリックします。

7 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは画面上の各ボタンの説明を読むことができます。

1. メニューの「ヘルプ」－「ヘルプ」を選択します。



ビューアーソフトのヘルプを表示します。



8 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

1. メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。



ビューアーソフトのバージョン情報を表示します。



ビューアーソフト
のバージョンを表
示します。

9 ビューアーソフトを消してしまった場合

誤ってビューアーソフトを消してしまった場合は、専用サイトからビューアーソフトをダウンロードしてください。

1. **Internet Explorer** などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。**URL** は下記のとおりです。

<http://www.e-iserv.jp/top/driverrecorder/12nissan/>



注意

専用サイトは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
3. 表示されたサイトからビューアーソフトをダウンロードし、デスクトップに保存します。

よくある質問

本体

質問事項	回答
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない／電源が入らないんですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
動作確認はどうやって行うのか？	動作確認手順（「本体の操作方法」（P.11）参照）に従い、映像が撮影されているパソコンで確認願います。
データを自分で消すことはできるのか？	SDメモリーカード内の映像ファイルは消去しないでください。
カーナビとの接続で映像を見ることはできないの？	日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）でのみ、映像を画面で見ることができます。（音声は出ません。）
専用のSDメモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.37）市販のSDメモリーカードをご購入されても、正常に動作しませんのでご注意ください。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができませんので、修理をお受けすることはできません。
記録したはずの映像がないんだけど？	記録できる映像は標準モードで約1.5時間、長時間モードで約6時間です（いずれも目安）。（P.13）これを超える場合は、古い映像から順に消していきます。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SDメモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクなどにコピーしておくなどの対応をお願いします。また、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合も保存されません。
信号の色が記録されないことがあるけど故障？	映像の記録周期とLED方式の信号の周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、環境によって信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
本体が起動しないのですが？	専用のSDメモリーカードは挿入されていますか？SDメモリーカードが挿入されていない時は、SDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードが挿入されているにも関わらず本体が起動しない場合は、SDメモリーカードの異常が考えられます。SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.37）

質問事項	回 答
SD メモリーカードに、映像が記録できないんですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 ・ SDメモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.37) - また、付属のSDメモリーカード以外は使用しないでください。 ・ SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」されていませんか？「LOCK」されている場合は解除してください。
再生モード、メンテナンスモードに切り替わらないのですが？	本機には加速度センサーが内蔵されており、本体に加速度（走行時や車のゆれなど）がかかると自動的に記録モードに切り替わるので、車両を停止させてから、再度、再生モードおよびメンテナンスモードに切り替えてください。

ビューアソフト

質問事項	回 答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）でのみ、映像のみをナビゲーションの画面で見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。 ⇒「記録した映像を見る（再生モード）」（P.15）参照。
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
ビューアソフトで記録日時が表示されず、「映像情報が欠落している・・・」と表示されたんですが？」	本体は、日時などの情報データを、映像と共に SD メモリーカードに記録しますが、データ書き込み中の SD メモリーカード抜けや、電源断などの原因により、情報データが正しく書き込めなかった場合に表示されます。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンの OS が Windows 98、ME、Windows 2000 ですが映像は見ることはできますか？	見ることはできません。対応 OS は Windows XP（SP3 以降 32 ビット版のみ）、Windows Vista（SP2 以降）および Windows 7、Windows 8 です。それ以外の OS では、ビューアソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows XP、Windows Vista および Windows 7、Windows 8 の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見ることはできますか？	できません。付属のビューアソフトでのみ再生が可能です。
ビューアソフトを消してしまいました。	ビューアソフトは SD メモリーカードの中に入っています。SD メモリーカードからデスクトップにコピーしてください。また、専用サイトからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」（P.41）参照。
パソコンに SD メモリーカードを挿入しても認識しないんですが？	SD メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度 SD メモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。

質問事項	回 答
ビューアソフトが起動しないんですが？	お使いのパソコンの OS は Windows XP (SP3 以降)、Windows Vista (SP2 以降) または Windows 7、Windows 8 ですか？ビューアソフトは、Windows XP より古い OS や、Mac や Linux など他の OS では起動しません。もし、OS が正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、専用サイトからダウンロードしてください。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.41) 参照。
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないんですが？	再度フォルダを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性がありますので、SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.37)
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないんですが？	ビューアソフトの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。(P.27) 設定変更しても音声が出ない場合、パソコン本体の音量設定を確認してください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルを SD メモリーカードから読み込みます。 ご購入直後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。 そのまま OK ボタンを押してください。
本体設定画面で設定を変更して書き込みをしましたが、設定が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。 設定変更をした後、SD メモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声が入り切れたりするのですが？	ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。

■仕様

項 目	仕 様
動作温度範囲	- 20 ～ + 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ～ + 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	12 V / 24 V (+ B、ACC、GND)
消費電流	+ B : 300mA 以下 ACC : 1mA 以下
外形寸法	横幅 55mm × 高さ 36mm × 奥行 85mm(突起部を除く)
質量	約 85 g (ケーブルを除く)
記録方法	常時記録 (標準モード / 長時間モードの 2 モード)
映像記録時間	標準モード : 約 1.5 時間 長時間モード : 約 6 時間
映像フレーム数	標準モード : VGA 最大 14 フレーム / 秒 長時間モード : QVGA 最大 3.5 フレーム / 秒
時計精度	月差 13 秒
ナビゲーション画面への映像出力	NTSC
撮影素子	1/4 型カラー CMOS
有効画素数	約 31 万画素
画角	水平 135° × 垂直 107°

MEMO

MEMO